

財産は現金のみ 内容欄はそれが増減する理由を書いてる。元手以外で増えたり減ったりする分が利益だから
その利益の中身を収益費用ととらえる

日付	内容	収入	支出	残高
第1期				
1月1日	おこづかい	1,000		1,000
	交通費		300	700
	バイト代	700		1,400
第2期				
1月2日	おこづかい	1,000		2,400
	交通費		200	2,200
	バイト代	800		3,000
	交際費		500	2,500

第1期

総勘定元帳

現金	
資本金	1,000
売上	700
交通費	
1,400	
資本金	
現金	
1,000	
交通費	
現金	300
売上	
現金	
700	

第2期

総勘定元帳

現金	
前期繰越	1,400
資本金	1,000
売上	800
交通費	
200	
交際費	
500	
2,500	
資本金	
2,000	
前期繰越	
1,000	
現金	
1,000	
交通費	
現金	200
交際費	
現金	500
売上	
現金	
800	

仕訳帳

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	1,000	資本金	1,000
交通費	300	現金	300
現金	700	売上	700

BSのみを作る場合の仕訳

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	1,000	資本金	1,000
繰越利益剰余金	300	現金	300
現金	700	繰越利益剰余金	700

仕訳帳

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	1,000	資本金	1,000
交通費	200	現金	200
現金	800	売上	800
交際費	500	現金	500

BSのみを作る場合の仕訳

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	1,000	資本金	1,000
繰越利益剰余金	200	現金	200
現金	800	繰越利益剰余金	800
繰越利益剰余金	500	現金	500

第1期		第2期	
資産		資産	
現金	1,400	現金	2,500
負債		負債	
	0		0
純資産		純資産	
資本金	1,000	資本金	2,000
繰越利益剰余金	400	繰越利益剰余金	500

増えた財産のうち100は利益

財産の増加（利益）・財産の減少（損失）の要因を表すのがPL

第2期のPL

費用		収益	
交通費	200	売上	800
交際費	500		
当期純利益	100		

純資産は利益以外の変動要因もあるため、株主資本変動計算書を作る

	資本金	繰越利益剰余金	株主資本合計
期首残高	1,000	400	1,400
新株の発行	1,000		1,000
当期純利益		100	100
当期変動額（純額）	1,000	100	1,100
期末残高	2,000	500	2,500